

よきやどりまちづくり委員会及びワークショップ これまでの意見と対応

No.	室名等	意見	対応
1	エントランス	外部から出入りしやすく	分かりやすく、駐車場からも近い建物中央にメインエントランスを配し、旧支所玄関は図書館に近いサブエントランスとした。メインエントランス近くに車いす利用者用駐車場及び駐輪場を設けた。エントランス前に大きな庇を設置し、雨天時にも降車後雨に濡れることなく入館できるようにした。外部から視認しやすく、エントランスホールは左右、1、2階への動線がわかりやすくゆとりあるものとした。
2	エントランス	デザインと機能を重視	
3	屋上	利活用の計画は？太陽光発電の利用は？	1階屋上に屋上広場を設けた。太陽光発電は将来設置できるよう荷重を見込んでいる。
4	屋上広場	転落防止	床面から1.8mのガラスフェンスを設置する。ガラスは強化ガラスで、万一フェンスを越えた場合でも、屋上広場の前には庇があり、地上まで転落することは抑制できる。
5	屋上広場	ボール遊びは可能か ボールが落下するのでは	可能ではあるが、放課後児童クラブの実態としてボール遊びを重要視する必要がないことを担当課に確認しており、ボール遊びを積極的に推奨する仕様にはしていない。
6	外観	コンクリート打ち放しか。	プロポーザルコンペ選考委員から旧支所庁舎のデザインを評価する意見があり、選定された案も同様の考えを持ったものである。選考結果は、専門的な視点だけでなく、町民に親しまれたデザインであることの証しであるとも解釈できる。近代建築様式の旧支所庁舎と調和したコンクリート打ち放しの造形物とすることで、引き続き吉舎町のシンボルとして認識されるものとする。完成後は国道からの視認性が高まり、景観上もシンボル性は高まる。
7	外観	シンボル性	
8	外観	支所と調和したデザイン	
9	外観	造形的、透明感	
10	会議研修室	防災拠点、避難場所としての利用	外部出入口に浸水対策を施したうえで、2階の会議研修室を災害対策本部として利用できるようにし、備蓄倉庫も2階に設けている。2階和室やホールは避難所として利用することを想定している。
11	会議研修室	湯茶の提供は	支所棟2階ホールと和室に水回りを設けている。
12	会議室	分割可能に	3分割可能にしている。
13	会議室	確定申告会場、待合は	支所棟1階会議室を申告会場とし、待合はサロンを利用する。図書館やホールロビーで待っていただくことも可能な対応（呼び出し方法等）も考えたい。
14	外部	庇の下を屋外ステージとして活用したい。	常設のステージは設けていないが、仮設での利用は工夫しだいで可能と考える。イベント対応を考慮して外部コンセントは設ける。
15	外部	子どもが遊べる広場	2工区の広場の利用を想定しているが、多目的に利用するため遊具等は設置しない。
16	外部	バス停設置	市民バスのルート変更の協議を進める。路線バスについては検討を要す。
17	管理	長寿命化と維持管理の軽減	改修、増築は長寿命化も意図している。躯体や設備の機能向上により維持管理の軽減も図っている。
18	講座室2	1階に音漏れしないか	フローリング、床下地組H=50により、音漏れの低減を図っている。
19	サロン	高齢者、中高生がくつろぐスペースを。エントランスを広くして。	スペースとしてはサロン、ホールロビー、2階ホール、2階フリースペース、屋上広場（利用時間制限あり）などを想定している。飲食はできないが図書館のブラウジングスペースもそのような機能を果たすと思う。どこまで開放するかは運営によるところが大きく、管理運営の主体や方法を検討する中で整理する。
20	サロン	飲食、フリースペース	
21	サロン	場所はどこか	理由：トイレがある。エレベーターに近い。支所棟2階での集合、講座の後に引き続き使える。児童クラブのお迎えの待合となる。児童クラブがない時に、屋上広場で子供を遊ばせるときに見守りが出来る。支所や自治連が近くにあると人の目が気になるので離れているが無駄地帯とならないようシルバー人材の事務室がある。
22	支所	町民との距離感を近く	エントランスから近く、また、複合施設となることでより身近に感じられると思う。支所の接遇、運営の面でも親しみやすい支所となるよう心掛ける。
23	市道	植え込みの早期撤去	2工区の工事範囲であるが、一部を先行して実施するよう検討する。

24	児童クラブ	視認しやすい位置に 広場も同様	2階に配置したが、エントランスからの動線が分かりやすい位置となっている。屋上広場の活用も含めて、管理運営上支障がないことを担当課に確認している。管理者から子どもに対する視認性については、運営の実態から近くにいることが常であり、屋内外相互にすべてのスペースが見通せることが必ずしも最重要課題ではない。
25	商工会	1階が良い。	1階に配置している。
26	商工会	1階に配置	
27	情報	町内イベントの情報発信を可能に	情報掲示等はエントランスホール等の利活用
28	シルバー人材センター	2階が良い。	2階に配置している。
29	全体	何か目玉になる工夫を。	複合化とそれを活かした運営をすることが目玉になる。
30	全体	開放感ある建物	外観上は開口部を多く設け、平面計画ではホール、ロビー等共有部にゆとりを持たせて自由に利用できるスペースを確保している。運営において気軽に利用しやすい施設となるよう配慮することで開放感を高めたい。
31	全体	開放的なイメージ	
32	全体	セキュリティ配慮	開館時は共用部はすべてオープン。部屋単位で区画。 設備設計上の対応としては、監視カメラを各出入口と共用部のフリースペースに計10ヶ所（1階6ヶ所、2階4ヶ所）設置。
33	全体	防犯カメラの設置は	
34	全体	開館時間が異なる セキュリティ区画は	
35	全体	事務所、支所、各施設の連携	管理運営方法で検討
36	全体	寒くないか、冬期はストーブ不要か	断熱性を向上し、設備計画も適切に行い、火気は使用しない計画としている。
37	倉庫	災害備蓄倉庫を設ける	2階に配置
38	倉庫	たくさん	消防棟2階に倉庫を設けた。現状の1/2程度は確保。
39	駐車場	隣接	道路を挟んで対面に69台計画。サブエントランス近くにも4台計画。 メインエントランス近くに思いやり駐車場を配置。庇も設けている。
40	駐車場	利用しやすい位置に	
41	駐車場	車椅子駐車場に屋根を	
42	調理室	1階が良い。 イベント時の調理、仕出しの消防署、保健所への届け出に対応できるように。	1階ホールロビーと一体利用できるように計画。 消防署、保健所対応は提供する食事の内容、方法にもよると思う。詳細がわからないが大きな支障はないものと思う。
43	調理室	1階に配置	
44	デザイン	ヒガンバナの赤を取り入れる	デザインに一部の意見を部分的に取り入れれたり、直接的に表現することは行わない。 全体のデザインコンセプトとディテールの一貫性、統一感、調和を重視しながら、利用者が地域性を感じ、愛着をもてるような雰囲気醸成を目指す。
45	デザイン	うだつの街並みに合うイメージ	
46	トイレ	子ども、女性が利用しやすく	ユニバーサルデザインに準拠している。
47	動線	避難ルートはどう計画されているか。	メインとサブのエントランスの他にも通入口、ホールロビー出入口、搬入口などあり、管内のどこにいても2方向避難をより短い距離で可能としている。
48	図書館	一人で管理しやすいように。	受付カウンターから図書館内全体を見通せるように配慮した。

49	図書館	児童クラブを近くに	管理運営の実態から、近接性を重視する根拠に欠けることを確認した。
50	図書館	図書館内にもサロンのスペースを位置づけ、サイン等明示すべき	サロンの利用も想定しているが、スペースを限定することの是非については運営において慎重に検討したい。
51	内装	カラフル、落ち着き、明るく	快適な空間を創造することはもちろんだが、デザインの考え方の説明と同様、全体の調和の中でより好ましいものを選択する。
52	内装	木材の多用	
53	配置	ふれあい祭りに配慮	外構計画とともに考慮している。
54	売店	欲しい。	運営主体無く、計画できない。
55	ホール	コンサート、学校行事等多目的に	要望に基づいて計画している。ステージ奥行の確保など。
56	ホール	控室、準備室の確保（他室と兼用可）	確保した。
57	ホール	使い勝手良く、片付けしやすく	可動席や収納スペース、仕上げ材など配慮した。
58	ホール	避難所としての機能を	避難所指定を想定している。
59	ホール	多目的に	多目的ホールとして設えている。
60	ホール	平土間、可動席	対応した。
61	ホール	舞台裏通路の確保	対応した。
62	ホール	壁面掲示はどこか	ホールロビーなどにピクチャーレールを設けているが、掲示の効果とより好ましい空間、環境という観点では独立した掲示が望ましい。 壁面展示は常設はロビーのトイレ側の壁。幅7m。その他の作品はロビーにパネルを設置して展示する想定。展示物を壁に貼ることを常態とするのは好ましくない。イベントはイベントらしくパネルを設置して皆さんに見てもらおうべきでは。ホールの装飾壁は、ホールが陳腐化しないよう見せる壁は必要と考えたもの。
63	和室	8畳2室	利用団体と協議、確認のうえ、8畳+6畳としている。